施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市下水道事業基本計画、津市雨水管理総合計画、下水道ストックマネジメント基本計画		
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局、上下水道管理局		
施策の内容（番号）			070	～	072

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	B	①	下水道工務課/下水道施設課/経営企画課
071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。	C	①	下水道工務課/営業課
072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。	B	①	河川排水推進室/南北工事事務所/下水道工務課/下水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	下水道計画区域等を除いた区域における浄化槽の設置・帰属数や公共下水道供用開始地域における未接続世帯への公共下水道接続についての啓発等については、当初の計画どおりの実施はできなかったものの、計画的な不明水対策等管更生工事や老朽管更新工事を行うとともに、河川のしゅんせつや河川施設の維持管理を適正に行うなどによって、総合的な生活排水対策等が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A	B				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040822070
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ 71
	関連個別計画			津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）、下水道ストックマネジメント基本計画（令和元年度～令和5年度）	
担当部局				上下水道事業局、上下水道管理局	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
070-1	汚水管渠維持管理事業	不明水対策等管更生工事・公共ます設置工事	効	下水道管等に流入する不明水によって起こる汚水の排水不良を防ぐ	◆ 不明水対策計画に基づき実施　3件	◎	計画していた工事すべて完成したことから「◎」とした。引き続き不明水対策を実施していく。
			誰	公共下水道使用者	◇ 不明水対策等管更生工事件数	◎	
	下水道工務課		何	安定した公共下水道の使用できる	36,120（千円）	現状維持	
070-2	汚水管渠建設事業	汚水幹線等築造工事等	効	汲取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の公共下水道への接続	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	○	令和5年度末における下水道処理人口普及率は56.1%であり、未普及対策を進める必要がある。特に平成30年4月に供用開始となった志登茂川処理区における汚水整備を中心に事業推進を図る必要がある。
			誰	公共下水道使用者、市内外の人々	◇ 処理区域面積	○	
	下水道工務課		何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	2,608,733（千円）	現状維持	
070-3	雨水管渠建設事業	雨水幹線築造工事等	効	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除	◆ 雨水管理総合計画に基づき実施	○	計画区域の整備を進められており、ある程度の効果が認められるものとして「○」とした。
			誰	市内外の人々	◇ 整備面積	○	
	下水道工務課		何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	486,899（千円）	現状維持	
070-4	建設改良事業	老朽管更新工事	効	老朽化による管路の損壊を防ぐ	◆ 津市下水道ストックマネジメント計画に基づき実施　1件	◎	計画していた工事すべて完成したことから「◎」とした。引き続き老朽管更新を実施していく。
			誰	公共下水道使用者	◇ ストックマネジメント工事件数	◎	
	下水道工務課		何	安定した公共下水道の使用	83,701（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

070-5	建設改良費	浄化施設整備工事、排水施設整備工事等	効	安心安全なまちづくりの推進	◆	下水道ストックマネジメント基本計画	○	下水道ストックマネジメント基本計画に基づき改築工事を進める。
			誰	使用者	◇	計画に基づく工事の実施	○	
	下水道施設課		何	安心安全な生活の維持	548,930（千円）	拡充・充実		
070-6	農業集落排水処理施設維持管理事業	農業集落排水処理施設等の機能強化工事	効	持続的な施設機能の確保とライフサイクルコストの低減	◆	機能強化工事条件変更に伴う関係部局との調整	○	機能強化工事に向けた条件の整理と設置年度、施設規模を勘案し対象となる施設の優先順位を決定した。今後は計画に基づき施設の機能強化を進めて行く。
			誰	使用者	◇	計画に基づく施設の機能強化の実施	×	
	下水道工務課/下水道施設課		何	安定した公共下水道の使用	0（千円）	拡充・充実		
070-7	流域下水道建設負担事業	中勢沿岸流域下水道の建設費を負担	効	生活環境の改善や河川等公共用水域の水質保全を図ることができる	◆	県からの要請に応じて適切に負担金を支払う	◎	県と共同して流域下水道事業の管理及び水洗化を促進する。
			誰	流域関連公共下水道区域に居住する住民	◇	対象区域の適正な管理及び水洗化の促進	○	
	経営企画課		何	流域下水道の排水の流入に支障のないよう、適正な管理及び水洗化を促進する	195,170（千円）	現状維持		
070-8			効		◆			
			誰		◇			
			何		（千円）			

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822071
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画			津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				上下水道事業局、上下水道管理局	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
071-1	市営浄化槽事業 / 下水道工務課	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の設置	効	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の放流水の浄化	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	△	市営浄化槽の設置及び、帰属数が計画より少なかったため「△」とした。今後は啓発活動等を行い事業の向上に取り組む。
			誰	市営浄化槽使用者、市内外の人々	◇ 市営浄化槽設置・帰属件数	△	
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	51,269（千円）	現状維持	
071-2	公共下水道事業 / 下水道工務課	公共下水道供用開始地域における未接続世帯への公共下水道接続についての啓発	効	公共下水道の水洗化率の向上	◆ 未接続世帯への普及啓発訪問件数　1,000件／年	×	他の業務との調整により、啓発訪問件数が435件となったことから「×」とした。公共用水域の水質保全のため事業を継続していく。
			誰	公共下水道供用開始区域の住宅所有者等	◇ 接続検査件数	○	
			何	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全につながる	0（千円）	現状維持	
071-3	普及指導事業 / 営業課	公共下水道供用開始地域の未接続世帯に対する補助	効	水洗化率の向上に繋がる	◆ 補助金交付42件	△	42件の計画に対し約69%の執行となった。利用者の減少はみられるものの、水洗便所改造費助成金の融資あっせんと利子補給により引き続き水洗化率の向上に取り組む。
			誰	市内の人々	◇ 水洗化率の向上	○	
			何	助成金を活用し、公共下水道へ接続することができる	32（千円）	現状維持	
071-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
071-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

071-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	C

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	C				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822072
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）		
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
072-1	緊急浚渫対策事業 / 河川排水推進室	緊急浚渫対策事業債を活用した、浸水対策のための河川の浚渫工事	効	浸水対策の促進	◆ 6河川の浚渫	△	4河川の浚渫を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	河川流域の住民	◇ 6河川の浚渫実施数	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	37,558（千円）	現状維持	
072-2	雨水計画事業 / 河川排水推進室	浸水被害軽減のための調査測量、検討業務委託	効	浸水対策の促進	◆ 5河川の設計	△	河川管理施設の整備に伴う3河川の設計を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	調査箇所周辺地区の住民	◇ 調査・測量実施数	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	48,109（千円）	現状維持	
072-3	雨水対策事業（農業水利施設改修） / 河川排水推進室	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための農業水利施設等の改修工事	効	浸水対策の促進	◆ 2調整池の工事	◎	農業水利施設等の改修工事によってオリフィスなどの排水調整機能を持った設備を設置したことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	ため池下流の地域の住民	◇ 調整機能の付加状況	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	22,919（千円）	現状維持	
072-4	河川維持事業 / 南北工事事務所	準用河川等のしゅんせつ、除草、修繕等の維持管理	効	適正な河川施設の維持管理を行う	◆ 施設の適正な維持管理	◎	河川の土砂しゅんせつ等を行うことにより、降雨時における河川の排水能力を高め、河川の氾濫等による浸水被害の低減を図ることができた。引き続き、河川の維持保全等に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。
			誰	市内外の人々	◇ 維持管理の進捗率	◎	
			何	地域特性に応じた河川施設の維持管理を行う	113,081（千円）	現状維持	
072-5	雨水管渠建設事業 / 下水道工務課	雨水幹線築造工事等	効	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除	◆ 雨水管理総合計画に基づき実施	○	計画区域の整備を進められており、ある程度の効果が認められるものとして「○」とした。
			誰	市内外の人々	◇ 整備面積	○	
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	486,899（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

072-6	雨水対策事業（排水機場等改修） 下水道施設課	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための排水機場等の改修工事	効	安心安全なまちづくりの推進	◆ 緊急自然災害防止対策事業の対象工事を実施	○	浸水対策のための排水機施設等改修工事に向け、老朽度を勘案し改修箇所の整理を行った。
			誰	市民	◇ 計画に基づく工事の実施	×	
			何	浸水対策	0（千円）	拡充・充実	
072-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
072-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
072-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
072-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.